

「神戸新聞 三好さんへ」

5W1Hや逆三角形など新聞は、そのニュースなどを
かつうに書いていると思ったけど、ちゃんと決りが
あったのがおどろきました。

三好さんの説明がとても分かりやすかったです。

あとよくある質問が、おもしろい所もあって

あの2時間まんそくできました。

ありがとうございました。

「短くまとめられた記事」

ぼくは4時間目の授業のインタビュー
の白紙イメージを聞いてこれだけ長かた
インタビューの言葉をすく書き留めて
短くしている戸弁だけを書いていたのが
どうやっていれたい言葉を入れるか、文
の構成を短時間でやっているかが
おもしろい速さだと思いました。

「神戸新聞についての感想」

私は神戸新聞をきいて思った事は、
新聞記者になると有名人に会えるのか
すごいと思いました。僕も有名人に一度で
良いので会ってみたいと思いました。
そして新聞をいさっしてその後
まちがっている所があるか
いんさつが出来て
かを確にんをして何回もいんさつするのか
すごいと思いました。
(しんどういのに)

「美野丘新聞教室の感想」

新聞について、とても工夫をされていることを
知っておどろきました。記者の人はあちこちへ行った
りしないといけないけども、すぐ大変なかなと思
っていたけど、有名人に会えたりレタリスマホを使
たりしていると、やりがいがあると聞いて、良
い仕事だなと思いました。見出しや、カ
タ、ヘソの書くことも、すぐ工夫して
言葉をえらぶことも知りました。いろいろ聞
けて、楽しかったです。

()

「もともと新聞大好き！」

新聞や写真のとりかたを三好さんに教えていただきました。
ぼくはこれからもともと一と新聞をよく
読んでそのいみを知りたいなと思いま
した。そしてこれからは、写真をとるとき三角構図や
対角線構図を大切に、上手にすてきな写真
がとれるようにがんばりたいです。

「ぼくが、まなんだこと」

ぼくが、まなんだことは、ぼくたちがふだんよ
んでるしんぶんが、人が手作業でしていると
いうことをまなんだし、ほかにもおもったこ
とは、ぼくたちはしんぶんをどくまでには
インタビューしたりコピーしたりはいたつし
たりいろいろなことをしてからぼくたちに
とどくんだなーということがおかたで
よかったです。また、しんぶん

をよむときにまなんだことをかかると

「新聞の構成を学び!!」

今日は、神戸新聞社のことについて3限~4限の2時間を使って勉強しました。話によるとトップカメラ、関連、コラムの3種類で新聞は分けられているようです。そして、写真は三角形構図というとりかたをするようです。また、三角形構図がでなければ、対角線構図というとりかたをするようです。そうすることで、写真がきれいに見えるようです。

「新聞への関心」

今回で、色々な新聞の工夫を知れてとても楽しかったです。

読者に読みまちがいをしてほしくないようにかかっている工夫もありました。

一番おどろいたのは、何人も有名人にあつたことがあるということでした。

これから、新聞を読む時に思い出したいなと

思いました。

「新聞記者の仕事」

新聞、テレビ、ラジオに言っても、ぼくにとりまはしらない人
です。たいてい、テレビとかのほうか分かりやすい人だも
けど、今回新聞について、いろいろしたので、
20%くらいきょうがわきました。ちなみに、ぼく
新聞のたことあります。
けれども、まさかそんなふうには作られてるとは思
いませんでした。今日はありがとうございました。
()

「すごい、びっくり、神戸新聞社」

コロナウイルスの面が多い時は50面ぐらいあって
新聞社の方は少ないときは10~20ぐらいだけど、
手きつした1冊1冊の時は40~60ありと
いってました。過去のインタビュー、ラグビーの
神谷同4選手インタビュー時に4人で25~30か
インタビューできずやはい...。すごい三好選手は
中島インソニムに助けをもらいました。😊
中島選手ありがとう。 ()
ほかにもたくさんの方に(有名人インタビュー)しました。

「たくさんの方の努力のかたまり 新聞」

今日、神戸新聞社の方にいろいろなお話をしてもらって、ふたたび読んでいた新聞にはたくさんの方の努力があってできているんだなと思いました。

新聞を読むことで社会でおきていることや、また、漢字の勉強にもなるので、新聞、てや、は、り、い、い、な、と改めて実感しました。

これからも、分かりやすいニュース記事を楽しみにしています。

「新聞の信託〜ゲストティーチャーが学んだ事〜」

僕は今日、ゲストティーチャーの三上さんに色々学びました。まず、新聞①網羅性です。網羅性は、多種多様なニュース、さまざまな分野のニュースをそれぞれの記事で網羅し、提供することによって、②一貫性 ニュースの重要性や価値を判断するための材料となるのが掲載されるかの一貫性です。③信頼性 事実の裏付けとして掲載されるニュースが信頼される SNSとの違いが必要だということです。僕も神戸新聞の皆さんのようにしたいです。

「私の将来像に光りがさした新聞記者」

私は文章を書くのが好きです。^うまいの紙に写真などを
はって、へんしゅうするのも好きです。今日新聞記者に
ついて学びました。記者はとても大変というイメージが
ありましたが、話をしてくれた^サ三女さんは「やりがいがある。」
と、自分の記事で日本を変えることもできるかもしれない。
自分の記事を読んで、おかわる人がいるかもしれない。
だから、がんばろうと。みんなのために、じょうほうを提供。
新聞がないと、日本で何が起きて()

いらかわからない。大事なもの。私はみんなのための、
新聞記者になりたい。と思った。

「神戸新聞社の人がおしえてくれた事」

ぼくは1年前の4年生の時から新聞が女子カで、でも
5年生になってからもおしえてもらってそれでも、と新聞が
見たくなりました。そして神戸新聞が見え、もらえました。
その人の名前は^サ三女子さんと言う方です。とてもやさしく
おしえてくれて、いろいろな有名な人とお話、
いてうらやましいです。それにしては新聞を作る
数々、すごいがーと思います。じょうほうに
多くの新聞を作るんだろーと
ふしぎに思います。ぼくもこれから新聞をこころいと思ひます。

「新聞のくふう!?」

新聞の話聞いて、「カタトップ、ヘリ、関連、コラム」などを初めて知って、新聞にもここに、かいた方がいい、というものがあって、おどろきました。そして、見出しも、くふうして、「一般の方」とかいたりして、見る人が分かるようにしていて、くふうをするのは、とても大変なんだと思いました。そして、「三分割法」「三角構図」などの色々なとりかたを試してみたいです。

「新聞を作る工夫にせまろう!!」



新聞記者の人は、読む人に誤解を生まないように様々な工夫をしていました。例えば、「5W1H」や「見出しになる言葉」などがあり、他にもたくさん人の工夫がありました。また、写真のとり方にも工夫がありました。それは、「三角形構図」や「対角線構図」などです。どんなものかという、直線にものを並べて写真をとるよりも、あまり何も感じられないか、ものを三角形の形に並べたりすることで、人に印象づけることができるということです。今回学んだことを生活に活かしていきたいと思いました!!

「新聞の文は工夫されているよ」

私がこの学習でまなんだことは、新聞では「文字をおくスペースや見出しの文はこたわる」ということです。新聞は文字を全部よまなくても、見出し、リード文をよむだけで、だいたいの内容がわかると知りました。シニアアドバイザーの三好さんが、何回か「記事には見出しがある」と言っていました。見出しなどの文をこたわると新聞をよむ人も、その記事にきょうみをもってくれそうだな、と思いました。私も（

学校で新聞をかくときに生かしたいと思いました。

「新聞のこと」

新聞を作るのにはいろいろな人が関わっていることを知って、すごいと思った。新聞社の人になろうとは思わないけど、いろいろな人に情報を届けることに尊敬します。人がわかりやすいように考
え作られている所も尊敬します。質問なんですけど、今まで取材した
有名人の中で会えてうれしかったのはだれですか。僕は個人的
に、「アカペラグループよかろうせん」のベース、まさるさんに会っ
てみたいです。これからも親聞うくりがんばってください。

「これからの読み方」

今までの「新聞」というものは、正直、ただ、日本や世界の情報を人に伝えるだけだと思っていました。けれど、今回記者のお話を聞いて新聞をつくるために働いているいろいろな人の思いがいろいろな記事がのっているのを見て深く伝わってきました。三好さん、本当にありがとうございました。

「すべて人の手で」

新聞をつくる人たちは、その新聞を読む人がわにもなると、どうしたら分かりやすく見てもらえるか、楽しんで読んでもらえるか、工夫をたくさんして、やっと完成するんだと思います。最近の出来事を次々にインタビューし、新聞をつくったりと、本当にたいへんな仕事だなと思いました！

「新聞記者の1日」

ぼくは、新聞記者の1日を聞いてとてもびっくりしました。なぜなら新聞記者の1日はとてもいそがしかったからです。まず新聞はしめ切りがあるので、しめ切りまでに毎日仕事を終わらせているのはすごいなと思います。次にだいなと思ったのはまちがいかないかぎりにつける作業です。新聞の記事にせを引物から一つ一つの目でかかっています。その作業にぼくは、いちはたのしいんじゃないかと思いました。今日新聞記者に、いろいろきいて、とてもおもしろかったです。ぼくは、「新聞記者はヒーローだ」ということばがとせ心にのこりました。ぼくもそのことばをたいじにみんなにやくだちたいです。

「新聞、てすこしい！」

私は、初めて、新聞に「網羅性」や「一覽性」、「信頼性」という特ちょうがあることを知りました。また、新聞記者の仕事では、「あらかじめ質問することを書く」ということや、「下調べしまくる」、「内容がごちゃごちゃにならないように書き分け」ということも、すこいとおもいました。私の家では、新聞をとっていません。だけど、この授業で新聞のことを学んでみて、新聞のことをもっと知りたくなりました。家でも新聞のことを調べたいです。

「新聞を作るために」

ぼくは、初めて新聞を作るこういを知りました。
新聞を作るこういを知って新聞には新聞を作
っている人の思いなどが書かれていることが分かりました。
そして新聞を毎朝、毎朝作るのがすごいと思
いました。なので新聞はぜんぜん読まなかつた
けど読んでみたいと思いました。あと新聞をつ
けているところを見てみたいし、知りたいと思
いました。

「新聞記者になって」

新聞記者で大変なことは、犯罪被害者などに話を
聞かないといけないと聞いてたしかに気力を使うな
と思いました。やりがいには有名人に会えると聞いて、それ
はいいと思いました。あと、すぐ事故現場などといった
場所に行かないといけないので大変だなと思いました。
だけどすごいのは刷りさつの際に人の手で新聞ができて
るか見ていておもしろいです。あと、三角構図、対角線構図と
写真の角度なども気にして、こ
しなように手間をかけていることが分かりました。

神戸新聞 出前授業を通して

今日は美野丘小学に来てくださってありがとうございました。

今回の授業で新聞記者の仕事や新聞の作り方などをおしえてもらいました。

お話を聞いて新聞記者の仕事をしてみたいと思いました。

「初めて知った新聞のしくみ」

私は初めて、写真の撮り方や、記事のやり方を知って、特に新聞の「トップカテゴリー」があることを知りました。とくに私がすごいと思ったのが、下調べまぐる勢力がとてもすごいと思いました。

も、と新聞記者になって一番楽しかったこととか、新聞記者のおもしろさをおしえてほしいです。